

## 教科別授業改善プラン（図工科）

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1)成果

- ・鑑賞において見方や感じ方を深めていけるように、表現活動から鑑賞の授業を行うことで、より深く作家の作品を見て、自分の見方や感じ方を広げたり、深めたりすることができた。
- ・テーマを選んだり、材料を選んだりすることで、選択し決めて、表現する力がついた。

#### (2)課題

- ・豊かに想像し、思いを深めて作品づくりに取り組めるようにすること。
- ・道具や材料の使い方や後片付けを適切に行えるようにすること。

### 2 重点課題

1年	<ul style="list-style-type: none"><li>・用具の正しい扱い方を知り、適切に使うこと。</li><li>・つくりたいもののイメージを明確にすること。</li><li>・作品を見合って、お互いの作品の面白さや工夫について感じ取って伝えること。</li></ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"><li>・はさみやのり、筆などの用具を適切に使って、作品づくりをすること。</li><li>・つくりたいイメージをもち、自由な発想で作品を仕上げること。</li><li>・作品を見合って、お互いの作品の面白さや工夫について感じ取って伝えること。</li></ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"><li>・紙粘土や板材などの様々な材料と、かなづちやペンチなどの道具を適切に扱い、工夫して表すこと。</li><li>・題材から表現し、いろいろな表し方などについて感じ考え、自分の見方や感じ方を広げること。</li></ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"><li>・液体粘土や板材などの様々な材料と、ぼかし網やのこぎり、彫刻刀などの道具を適切に扱い、工夫して表すこと。</li><li>・題材から表現し、いろいろな表し方などについて感じ考え、自分の見方や感じ方を広げること。</li></ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・土粘土や針金などの様々な材料と、電動糸鋸や彫刻刀などの道具を適切に扱い、工夫して表すこと。</li><li>・題材から発想を得て、表現し、自分の見方や感じ方を深めること。</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・土粘土や墨などの様々な材料と、電動糸鋸や彫刻刀などの道具を適切に扱い、工夫して表すこと。</li><li>・題材から発想を得て、表現し、自分の見方や感じ方を深めること。</li></ul>

### 3 授業改善策

1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画材（クーピーやクレパス、絵の具など）や用具（はさみやのりなど）の基本的な使い方を繰り返し指導する。</li> <li>・ 児童が活動の見通しや作品イメージをもてるよう、学習の流れを提示し、作品例を複数提示する。</li> <li>・ 友達の作品の良いところに気付き、その気付きを自分の作品に生かすことができるよう、活動途中や活動後の鑑賞の時間を充実させる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はさみ、のりなどに十分慣れるように、活用する機会を増やす。</li> <li>・ 写真などを活用し、自分が思い描くイメージをつかませてから、制作させる。</li> <li>・ 作品を見る視点を与えて、鑑賞する機会をもつ。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かなづちやペンチなどの道具の適切な扱い方を指導する。</li> <li>・ 児童の発想が広がるように、題材設定や導入の工夫をする。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼかし網やのこぎり、彫刻刀などの道具の適切な扱い方を指導する。</li> <li>・ 児童の発想が広がるような導入の工夫をし、イメージを膨らませる。また、アイデアスケッチを描いて、表したいことを見付けさせる。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電動糸鋸や彫刻刀などの道具の適切な扱い方を指導する。</li> <li>・ 児童の発想が広がるような題材設定をする。また、アイデアスケッチに描かせる。さらに、アイデアが浮かばない時は、本やタブレット端末で調べ、イメージを広げさせる。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電動糸鋸や彫刻刀などの道具の適切な扱い方を指導する。</li> <li>・ 児童の発想が広がるような題材設定をする。また、アイデアスケッチに描かせる。さらに、アイデアが浮かばない時は、本やタブレット端末で調べ、イメージを広げさせる。</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞において、ICT 機器を用いて自分の感じたことや考えたことを表し、共有する機会をつくる。</li> <li>・ 制作している過程の中で、一人一人への声掛け・アドバイスをする。</li> <li>・ 一人一人が活動できるように十分な材料や道具を用意する。</li> </ul>